

留学を終えて 狛君卒業式

8期生で昨年1月より11月まで次世代リーダー育成道場でオーストラリアに留学していた狛巧己君が、帰国し2月19日に音楽室で卒業証書授与式を挙行了しました。答辞を掲載します。



今日はこのような厳粛な場を設けてくださり誠にありがとうございました。今日は留学の報告も兼ねて答辞を述べさせていただきます。自分はオーストラリアのアデレードに行ってきました。学んできたのは本当にただの高校生活です。自分がやってきたのは英語と数学と体育というような本当に普通のことでした。大学で学ぶような専門科目ではありません。本当に日常のオーストラリアの文化です。文化という堅いものでもなく、「オーストラリアだなあ」というものです。このプログラムの目的に、専門分野を学ぶのではなく、世界の広さを学んでくる、というものがあります。その目標を自分は達成できたのかな、とこの一年間を通して思います。その中には、税金なので、みなさんやお母さんの支えがありました。本当にいろんな人に支えてもらっているな、と感じました。それと同時に、ドミとか学校生活を通して学んだことがあり、その基礎があったからこそ、学ぶことが出来たのだと、プログラムが終わって改めて感じています。

そしてまた最後にこのような場を設けていただき、もっと小さくやって終わりだと思っていたので、ほんとうにありがたく思っています。短いものになってはしまうのですが、これで答辞とさせていただきます。

進路講演会

1月12日、東京海洋大学准教授 青山千春博士に1年生を対象に「女性よ、そして男性よ大志を抱け」と題し出張講義していただきました。

南極に行きたい、そのためには航海士になろうという決意のもと、船員養成の大学を志願するも女性はいれない時代で、東京水産大学だけが入れたそうです。「夢を見つけ、その夢をあきらめな。好奇心・探究心を持ちなさい。」魚群探知機でメタンハイドロートを発見する研究についてもお話いただきました。



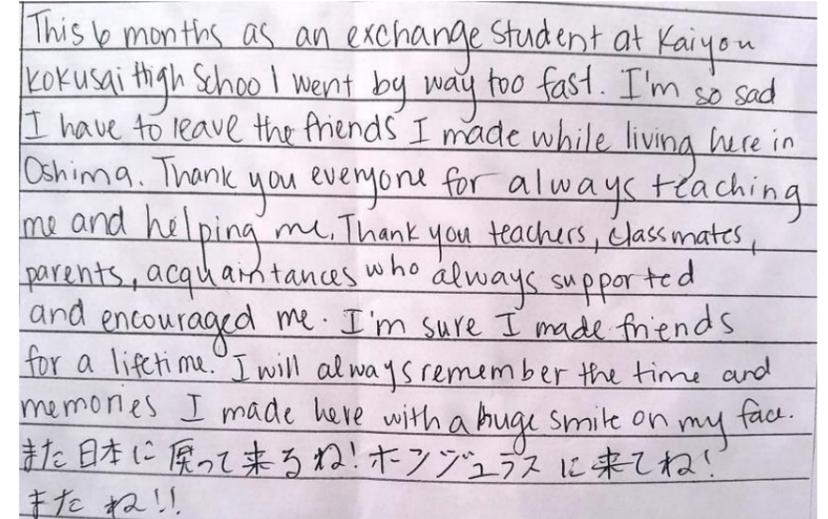
3年生を送る会・学習発表会

1月20日、3年生を送る会を行いました。生徒会編成のビデオメッセージの上映や、有志による舞台パフォーマンスがありました。引き続き午後、3年生の研究発表、2年生の航海学習、次世代リーダー育成道場参加者による海外留学報告、留学生エリザベスさんの日本での体験について発表がありました。



エリザベス離島

8月よりホンジュラスからの留学生エリザベスさんが2月に離島しました。2年A組に所属し一緒に学習しました。部活動も郷土芸能部やバレー部に参加しました。日本の文化に興味を持ち、積極的に大島の行事にも参加していました。最後に残してくれたコメントです。自筆のまま全文掲載させていただきます。



防災サミット及び合同防災キャンプ

1月22日に新宿山吹高校において、防災サミットが行われました。8月に行われた合同防災キャンプの報告等の後、「防災・減災について考える」というテーマで、生徒と教員に分かれてグループ協議を行いました。本校からは2年生澤井君が参加しました。

防災サミットに参加して

防災支援隊 2年 澤井 新

自分は、都立新宿山吹高等学校で開催された「都立高校防災サミット」に参加させていただきました。これは、都内の全都立高校の代表生徒が集まり、防災・減災のために高校生に何ができるかを話し合い、今後の活動に活かすための会議です。午前・午後の部に分けて話し合いました。まず午前の部では、合同防災キャンプに参加した高校生の発表を聞きました。防災意識向上のための大学との連携や、津波からの避難の迫体験など、興味深い発表が多くありました。特に「避難後の生活インタビュー」では、避難後も地元の特性を活かした産業を営む人たちを知り、「復興」の意味を考えさせられました。物理的な復旧だけでなく、「心身の復興」「生業の復興」に力を入れることも重要だということを確認しました。また、自主制作防災ハンドブックやハザードマップの生徒への配布といった実用的な例もあり、本校への導入も検討したいと思います。

続いて午後の部では、小グループに分かれて意見交換を行いました。自分は海洋国際の代表として、「1：即応体制の整った防災活動支援隊の運用」「2：訓練等の自主的実施のための校内での支援隊の権限拡大」「3：地域の防災意識向上のためのアンケート等の実施」「4：役場・議会・地域自治体との積極的な意見交換」「5：防災活動支援隊代表同士の平時からの情報交換」といった提言を行い、高校生の立場でできることを考えた結果、ほぼすべての提案に理解を示していただきました。

防災サミットを終えて、一層の防災・減災への理解と、地域への貢献の新しい可能性を見出すことができました。自分は、生徒会補欠候補で「防災・減災の地域づくりへの貢献」を公約に掲げ、皆様のご推挙により、執行委員の役職へと就かせていただきました。この生徒の皆様との約束を果たすためにも、防災サミットでの学習を活かし、公約実現に向けて取り組んで参ります。



国際講演会

2月10日に本校体育館にて、外務省高校講座が開かれました。外務省高校講座とは、外務省国内広報室の行う広報活動の一環として、日本全国から応募のあった高等学校から選考された学校に、海外赴任経験のある現役外務省職員を派遣して、外務省の職務、海外での仕事の様子、職員の海外での経験などを話すことを通して高校生の国際感覚の育成を目的に行われる活動です。北は北海道、南は沖縄まで日本中で講演を行っている事業に今年度は海洋国際高校が選考されました。

当日には、ハイデルベルグに学び、ベルリンの在ドイツ日本大使館で勤務されていた五十嵐光課長補佐にご講演をいただきました。普段、高校生にとっては身近に感じる機会の少ない外務省の職務について、また、現在の南西アジア課での仕事を通して経験した、2011年に東日本を襲った大災害に対する各国からの支援のお話まで、所々にクイズを挟みながらご紹介いただきました。

講演後には座談会として航海計器室にて、11名の生徒が五十嵐講師を囲んでの質疑応答の時間を設けていただきました。1時間以上にわたって、外国の文化や生活事情、日本の外交政策や海外での日本人に関係する大きな事件や事故の対処などについて、本校生徒からの様々な質問に答えていただきました。普段私たちがニュースを見たり、新聞を読んだりするだけでは知ることのできない現場のお話を伺うことができました。座談会参加生徒からも、「こんなに詳しく答えてもらえるとは思わず、嬉しかったし、もっと質問を考えておけばよかった。」という感想も聞かれ、生徒にとって非常に有意義な時間を過ごすことができました。 国際部：鈴木翔先生

事後アンケート 生徒のコメント（一部抜粋）

・外務省という名前を知っていたのですが、具体的にどのような仕事をしているのかを知れてよかったです。特に印象に残っているのは、メ



キシコでの海外青年協力隊での話です。自分の思っているメキシコの想像が一瞬でぶち壊れたのですが、話を聞いていると水質の違いや言語の違いがある慣れない土地で現地の人といろいろなことをするのはとても楽しそうで、自分の進路の選択肢として考えるほどでした。（2年）

・日本が災害にあった時に、千羽鶴を折ってくれたり、70万個のツナ缶をくれたりして、知らないだけで日本はいろいろ救われているんだなと思いました。逆に日本が作ったもので災害から守られた国もあって、争いもなくこうやって助け合えるのは素晴らしいことだなと感じました。（2年）

・外務省は具体的に何をするのかわからなかったけど、外交を通して地域の活性化に貢献するために力を注いでいることにとても感心しました。私は将来外国で働きたいという願望が強いので、今回の講演会は非常に興味深かったです。「明日はきっと今日よりもいい日になる」と思い込むだけでもネガティブになるよりは全然よいと思うし、毎日新しい出会いや出来事があるからこそ人は成長できるのだと思います。（1年）

マラソン大会

2月12日（日）、大島町カメラマラソンが行われました。大島海洋国際高校では、毎年この大会に学校行事として参加させていただいています。今年の大会は天候にも恵まれ、生徒たちは気持ちよく走ることができたのではないかと思います。何はともあれ、生徒のみなさん、お疲れ様でした！

さて、今大会の校内結果を簡潔にまとめると、男子の部（10km）では、昨年よりも上位入賞者の平均タイムが20秒近く速いというハイレベルの戦いの中、昨年入賞経験のある10期生たちが上位を占め、貫録を見せつけた形になりました。女子の部（5km）では、上位10名中7名が10期生という結果になりました。上位は11期生に譲る形にはなりませんが、「まだまだ負けられない！」という10期生の意地を垣間見ることができました。また、部活動別に見ると、男子ではサッカー部（上位10名中6名）、女子では潜水部（上位10名中6名）の活躍が目立ちました。

以上の結果からもわかるように、全体的に10期生の活躍が目立った今大会ではありますが、それは11期生の力がないということではありません。高校生活を1年長く過ごしてきた10期生が、授業や部活などを通して大きく成長してきたということです。上級生が成長し、こうした行事で力を発揮できるというのは、大島海洋国際高校の良き伝統だと思います。そうしたものを継承し、来年の大会で活躍するのは11期生のみなさんです。今後、授業や部活、個人で努力を重ねて、来年は力を見せつけてください！

最後になりますが、今大会の運営に携わってくれた運動委員のみなさんお疲れ様でした。

あなたたちの活躍なくして、体育行事のスムーズな運営はあり得ません。本当にありがとうございました。生徒のみなさんも、こうした行事の陰には、運動委員の人たちのように支えてくれている人たちがいることを絶対に忘れないでください。

体育科：増子 良太先生



部活動遠征報告

セーリング部 12月23日～25日 全日本420選手権大会 若洲ヨット訓練所
3年生佐藤 海志君・中野 亮君が6位になりました。

バレーボール部 2月11・12日 公立高校女子バレーボール選手権大会

第一試合 対 大山高校 0-2 ○
第二試合 対 大崎高校 0-2 ○
第三試合 対 千早高校 2-1 ●
第四試合 対 世田谷高校 0-2 ○

支部決勝トーナメント出場

1回戦 対 三田高校 2-1 ●

今の代になって初めての大会でしたが、島内の大会に混ぜていただいたり、教員のバレーチームに協力していただいたりたくさんの人たちのおかげでこのような結果を出すことができました。感謝でいっぱいです。 部長 鈴木千絵(2年)

